

# オーガナイザー挨拶・趣旨説明 — 日本発 顧みられない熱帯病治療薬開発への挑戦 —

The challenge of developing new treatments for NTDs originating from Japan

山田 陽城

Haruki Yamada

東京薬科大学薬学部

School of Pharmacy, Tokyo University of Pharmacy and Life Science

山田 陽城 (やまだ はるき) 薬学博士

東京薬科大学薬学部 特任教授  
特定非営利活動法人DNDi Japan 理事長

[主たる専門領域] 和漢薬理学, 天然物生化学・微生物化学



本日はご来場いただき有難うございます。日本薬学会第135年会シンポジウム「日本発 顧みられない熱帯病治療薬開発への挑戦」を始めさせていただきます。オーガナイザーは、東京大学大学院医学系研究科の北瀬先生と私とでつとめさせていただきます。

「顧みられない熱帯病」(Neglected Tropical Dis-

eases : NTDs) に世界149カ国の10億人以上が感染して、年間100万人以上が死亡しています (Fig. 1)。ここに示した17の疾患をWHOはNTDsと定義しています。2015年2月20日付の日本経済新聞では「熱帯病、世界に拡大」として、最近のNTDsについての、WHO (世界保健機関) の報告書が提出されたとの記事が掲載されました。デン

Fig. 1 Neglected Tropical Diseases (NTDs : 顧みられない熱帯病)

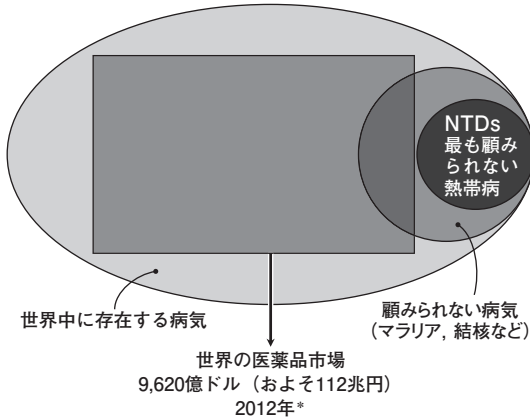


グ熱、アフリカ睡眠病などが世界各地に拡大しているのを、これを警告して各国が対策をとっていないと報道しています。

ところがその対策にいろいろな課題があります (Fig. 2)。NTDsは貧困層の地域で起こっていることからその治療薬は市場性がないため、各国の取り組みも限られています。Fig. 2の外側の楕円形が世界中に存在する病気だとすると、四角で

**Fig. 2 顧みられない熱帯病 (NTDs) は医薬品市場の外にある**

- NTDs治療薬は市場性がない
- 患者の多くが貧困層の忘れ去られた人々
- 各国の取り組みが限られている



\* 出典：IMS Health

囲ったところが世界の医薬品市場で、2012年のデータでは、日本円でおおよそ112兆円の規模になっています。広い意味での顧みられない病気としてはマラリア、結核などが含まれます。さらに最も顧みられない熱帯病になると、医薬品市場から外れてしまいます。何とかこの部分に対する薬を開発する必要がありますが、営利を目的とした従来の医薬品開発システムではNTDsの治療薬の開発は非常に困難であるため、産官学連携による新たな仕組みの治療薬の開発が期待されています。日本は世界トップレベルの創薬力を有しており、これを活かした日本発の新規NTDs治療薬の開発を目指すため、従来にない新しい仕組みを作っていくかなければなりません。

本日のシンポジウムでは6人のシンポジストにより、世界のNTDsの現状と治療薬開発の動向、医薬品開発パートナーシップ (PDP) としてのDNDi (Drugs for Neglected Diseases initiative) の活動、製薬企業のNTDs治療薬開発への取り組み、NTDs創薬研究コンソーシアムの活動、官民ファンドを通じた国の取り組みについてご紹介いただきます (Table 1)。このシンポジウムを通じ、NTDs治療薬開発に必要な新たな仕組みをご理解いただき、日本発の新規NTDs治療薬開発に多くの方が参画していただければ幸いです。

**Table 1 日本発 顧みられない熱帯病治療薬開発への挑戦**

	オーガナイザー：北 潔, 山田 陽城
1. 世界の顧みられない熱帯病 (NTDs) の現状と対策	長崎フィラリア症LF-NTD室/長崎大学熱帯医学研究所 一盛 和世
2. NTDs 治療薬開発研究の最新の動向	東京大学大学院医学系研究科・生物医化学教室 北 潔
3. DNDiによるNTDs治療薬開発のための国際パートナーシップ	DNDi Japan / 東京薬科大学薬学部 山田 陽城
4. NTDs治療薬の開発と提供：製薬企業としての取り組み	エーザイ株式会社 エーザイプロダクトクリエイション本部 浅田 誠
5. NTDs創薬研究コンソーシアムの活動	アステラス製薬株式会社 研究本部 創薬化学研究所 生田目一寿
6. 日本発 顧みられない熱帯病治療薬開発への挑戦 — 厚生労働省の立場から —	厚生労働省 大臣官房国際課 国際協力室 日下 英司